

令和元年度学校評価 教職員アンケート集計結果

[内部評価 対象:教職員]

[46名]

No	質問内容	<input type="checkbox"/> よくできている <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	平均値
1	教育活動全体を通して、生活綱領(※)や生命を尊重する心、感謝の心を備えた生徒を育成できていると思いますか。	3 33 13 4	2.8
2	学校生活に必要な情報を学年通信やホームページ等を通して発信していると思いますか。	6 23 16 11	2.7
3	学校行事の精選や内容の充実を図っていると思いますか。	3 27 13 32	2.7
4	授業は分かりやすいと思いますか。	4 31 11 5	2.8
5	普通教室での大型表示装置の活用など、ICTを活用した授業が行われていると思いますか。	9 25 9 33	2.9
6	考える力(課題解決力・自分で答えを導き出す力)の育成ができていると思いますか。	3 16 25 22	2.4
7	宿題や課題の内容・分量は適切であると思いますか。	3 32 9 22	2.8
8	商品開発、販売実習や海外ビジネス交流は、本校の特徴的な取り組みの一つになっていると思いますか。	10 25 9 22	2.9
9	情報を活用する能力を育成していると思いますか。	5 21 18 11	2.7
10	資格取得のためのサポートが充実していると思いますか。	11 25 9 3	3.0
11	生徒のコミュニケーション能力の育成ができていると思いますか。	2 23 19 22	2.5
12	生徒の学力を伸ばし、希望進路(生徒や保護者のニーズに応じた)を実現できていると思いますか。	5 31 9 11	2.9
13	生徒や保護者に適切な進路(進学・就職)に関する情報が提供できていると思いますか。	6 29 10 11	2.9
14	勉学と資格取得と部活動について、バランスよく取り組んでいると思いますか。	4 18 15 3	2.5
15	部活動は、安全に配慮し過度な疲労を残さないなど、適切な運用を行っていると思いますか。	4 22 17 33	2.6
16	ノー部活動デーは実施されていると思いますか。	6 10 13 3	2.2
17	生徒は交通ルールやマナーをよく守っていると思いますか。	4 26 15 3	1.8
18	スマートフォン等利用方法・利用時間帯等について、家庭や自己でルールをつくり、守れていますか。	7 9 28 6	2.2
19	時代の流れに応じて、校則などを見直し、生徒・保護者へ適切に対応できていると思いますか。	8 26 10 22	2.9
20	交通ルールやマナーを守るなど、安全な学校づくりを推進していると思いますか。	4 27 15 3	2.8
21	人権について考え、人権意識を高めることができたとと思いますか。	8 31 5 11	3.0
22	生徒は図書室を利用していると思いますか。	5 29 12 3	1.8
23	生徒は、明るく充実した学校生活を送っていると思いますか。	4 38 4 3	3.0
24	生徒のキャリア形成を支援するためのキャリア教育推進体制が構築されていると思いますか。	4 24 16 22	2.7
25	教員の教科指導力を向上させる体制が構築できていると思いますか。	1 21 19 35	2.4
26	生徒の学力を伸ばし、進路実現に向けた指導ができていますか。	5 29 12 3	2.8
27	進路情報を十分に理解し、生徒の進路指導に当たることができていますか。	6 23 17 3	2.8
28	授業見学、公開授業の実施、生徒からの授業評価(アンケート等)などを通して、自信の授業力向上に努めていますか。	3 25 16 11	2.7
29	「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を行っていますか。	3 28 14 3	2.8
30	生徒の考える力を引き出すことを意識した授業を行っていますか。	5 27 12 11	2.8
31	コミュニケーション能力の向上を図ることを意識した授業を行っていますか。	7 28 10 3	2.9
32	生活綱領にある目指すべき生徒像を意識した教育を行うことができていると思いますか。	4 24 17 3	2.7
33	個人情報の管理を厳重に行っていますか。	11 31 3 11	3.1
34	月45時間(年間360時間)以内の残業時間を守れていますか。	4 17 10 15	2.2
35	ワークライフバランスを意識した生活ができていますか。	7 17 15 7	2.5

平均値は「よくできている」を4点、「できている」を3点、「あまりできていない」を2点、「できていない」を1点とした平均の値となっています。

令和元年度 学校評価報告

[内部評価] 対象:各専門部・学年

A:よくできた B:できた C:あまりできなかった D:できなかった

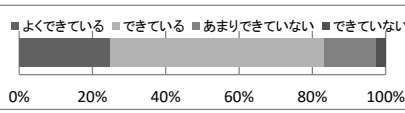
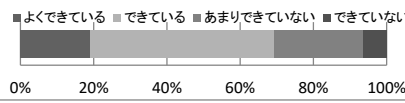
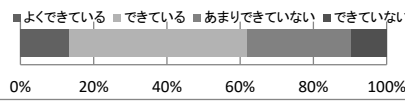
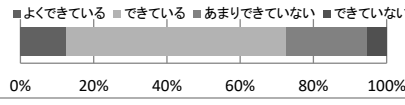
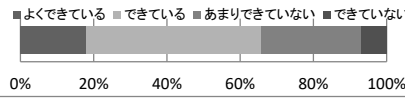
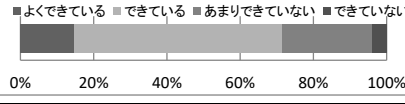
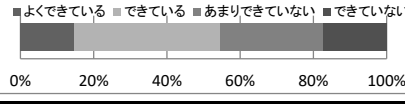
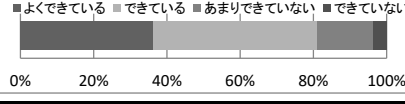
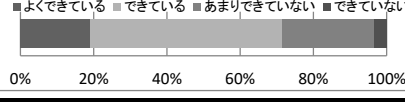
	重点目標	成果	評価	課題	改善策等
総務	・広報活動の工夫と充実を図り、本校の特色(魅力)を学校内外の関係者に発信する。	・学校案内パンフレットの改訂 ・学校ホームページのリニューアル及び情報発信回数の増加 ・商業科と情報科学科の違いの明確化、本校の魅力・特色を学校内外の関係者に発信し、理解を深めることにつなげた。 ・オープンハイスクール参加者は、昨年よりも増加	A	・広報の方法の抜本的な変更 卒業生が中学校を訪問する形式など ・スマートフォンで閲覧でき、生徒や保護者等から見やすいホームページの作成 ・オープンハイスクールを見越した、学校案内パンフレット等広報資料の早期作成	・学校案内パンフレットを早期作成(4月中) ・生徒による中学校訪問の実施 ・学校ホームページでの情報発信・更新頻度の増加 ・スマートフォン用のホームページの作成
	・PTA、後援会、同窓会等関係機関との連携をより一層密にする。 ・各種学校行事においては、各学年及び専門部との連携を密に図りながら、教育活動をスムーズに実施するとともに、充実につなげる。	・学校行事では、企画・準備段階から連絡・連携を密に図り、保護者の参加が増加した。 ・保護者の理解が促進されたことで、教育活動の充実となった。	B	・創立110周年事業のスムーズな展開 ・「防災・危機管理マニュアル」の見直し	・同窓会事務局とのスムーズな連携 ・各部署と連携した「防災・危機管理マニュアル」の改定及び減災・防災教育の見直し ・校内規程集の再確認及び周知
	・「校内規程集」の見直し	・各部や学年と連携して全面改定を実施 ・それに伴い校則等の見直しの実施	A	・校内規程集の周知徹底	・改定した内容が、教育活動として実践されるよう、さらに各学年等と協議等を進める。
教務	・自ら学び、自ら考える力を育成するため、各教科内研修(公開授業)を推進し、授業改善を勧める。 研究授業を行い授業改善・自己研鑽に努める。	・全ての教科で公開・研究授業を行い、教科内研修を推進 ・分かりやすい授業を目指し、ICTを活用、授業改善を実施 ・BYODを導入するなどの授業研究を実施	B	・全ての教科目で授業評価についての公開・研究授業の実施 ・ICTを活用したわかりやすい授業の実施のための教員研修の実施 ・BYODでの研究授業の実施	・年度や学期など授業評価の実施時期を示し、各教科において評価項目の策定を依頼し教務主導で導入したい。 ・教員が気軽に活用できるような環境の検討とさらに手本となる、研究授業の実施
	・基礎・基本の定着を図るため、少人数指導・複数担当授業・習熟授業など指導の工夫改善に努める。 ・個に応じた学習指導の徹底を図るため、生徒の達成状況を的確に把握し指導と評価の一体化を図るよう努める。	・新教育課程を見据え、一人一人の能力・適性を生かし、個性や創造性を伸ばす教育に努めるよう学校設定科目の設定を行い、教育課程の変更を行った。	A	・令和4年度からの新教育課程に向けた研修の実施 ・本校独自の教育課程の編成と展開 ・教育課程を理解して、学びの進化となるよう各教科と連携を深めていく。	・新指導要領伝達講習会に参加した各教科代表が中心となった教科研修の推進 ・各教科で、主体的・対話的で深い学びの実現のための研修の実施 ・社会に開かれた教育課程の実現
生徒支援	生徒支援(いじめ、不登校、支援等)のための情報共有の実施(年間を通して週1回実施)	・各学年、保健部、支援部で情報共有 ・現状の把握(欠席等)や対応の迅速化。 ・各学年の対応の迅速化と丁寧な指導の展開 ・カウンセリングの活用促進	A	・情報共有後の有効な実践	・継続して実施 ・事例等を全職員の研修資料とするなど
	・自転車通学生が大部分である現状を踏まえ、交通マナーの向上と交通安全の高揚を図る。	・年間3回の交通安全運動(下校時) ・自転車運転マナー指導(1年生対象) ・棚田交差点付近の交通安全指導 ・1年生「保健」の授業において「交通事故」の分野を4月当初に指導	B	・1年生の交通事故等が多い。(接触、迷子等)	・飾磨警察交通課と連携を図り、新入生対象の交通安全教室を行う。 ・継続した交通安全指導を実施し、事故の減少を目指す。
	・生徒指導上のルールの見直しを図る。	校内ルールの主な変更点 ・携帯電話 学校に持参しない→持参可 ・アルバイト 許可制→届出制	A	・変更されたルールの周知徹底を行う。 ・また、成年18歳に向け問題点について議論を続けていく。	・生徒会を中心として、生徒の意見を反映させる。

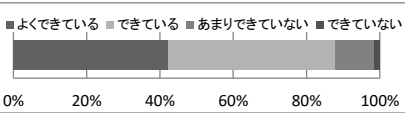
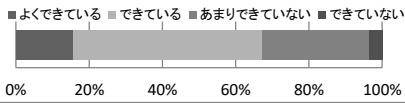
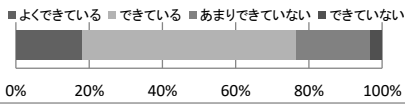
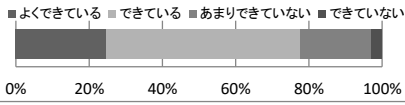
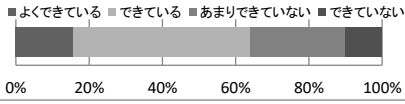
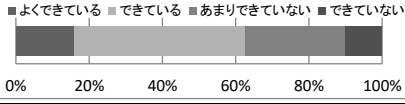
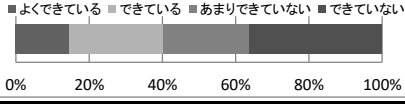
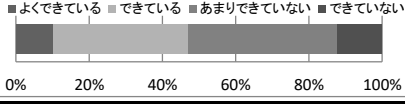
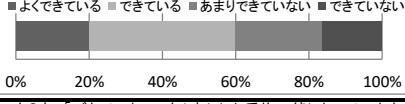
	重点目標	成果	評価	課題	改善策等
保健	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全体を通して心身の健康の保持・増進に必要な自律的能力を培い、生涯にわたって主体的に健康な生活を保持するための基礎を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の事前・事後指導の機会を活用し集団・個別に自らの健康に関心を持つよう指導を行い、一定の反応を得た。 保健室の機能を十分にいかしながら、保護者や学校医と連携を密にし、心身の健康問題の早期発見や早期治療、疾病の予防に努めた結果、生徒の健康に対する意識が向上した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断結果を受けて、生徒自らが健康意識を持ち、健康の保持増進につながる行動がとれる生徒が少ない。 健康意識は向上したものの、生徒が多忙で病院受診する時間の確保が難しい。 がん教育の準備が遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断後の事後指導を個別に丁寧に進める。 健康教室を増やし、生徒が健康に関心を持つ機会を増やす。 学校として生徒の日常生活の中に病院を受診し定期健診や検査、治療を受けるための日を確保する。 がん教育研修会等に参加し実施できるよう準備する。
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域社会との連携を図りながら多様で複雑な社会の中で、生徒にその一員としての共生の心を育成し、生命の大切さやボランティア精神の大切さを体得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・教職員に健康教育講演会やカウンセリングマインド研修等の専門家の講話を聴く機会を設け、心の教育と窓口の存在を周知した。 献血啓発活動や献血活動を通じて命の大切さ、ボランティア活動の大切さを伝え、献血を実施する生徒が増えた。 保護者・専門機関と連携し個別に支援を必要とする生徒への支援を組織的に行った。 特性のある生徒理解につながる情報提供をほけんだよりで行い、生徒の「共生」に関する意識を育んだ。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な生徒の把握と情報共有をより円滑に実施する必要がある。 支援が必要な生徒の中学校からの情報提供がない場合があり、対応が遅れが出る場合がある。 支援ファイルの定期的な更新ができていない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに支援が必要な生徒の把握、ファイルの作成更新、情報の共有までのスケジュールを作成し確認する。情報が更新されるごとに共有を行えるよう体制を整える。 可能な限り入学時に把握する。入学後把握した場合は必要に応じ保護者・中学校・関係機関と連携し生徒が学校生活で困難な状況にならないよう努める。 キャンパスカウンセリングを生徒に開かれた機会にする。
職業指導	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのキャリア形成と自己実現におけ、組織的・継続的な職業指導部体制の充実 各学年と連携を深め適切なサポートを計画的に実施する。 主体的な進路選択能力の育成を図るために、様々な体験活動を通じて望ましい職業観や勤労観の育成と進路意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学年との定期的な会議や毎日の打合せを実施 各学年実施の進路行事では学年就職担当者と連携を図った。 「卒業生を囲む会」「応募前職場見学」「ビジネスマナー講座」「インターンシップ」「職業講話」「就職ガイダンス」を実施。生徒向け・保護者向けの「進路説明会」の実施。「公務員学習会」を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 3年の継続的な就職指導が業務の中心とり、他学年との連携が手薄になった。 1年の体験活動を計画する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア形成のため、入学時から三年間を見据えた行事計画を立てる。 進路計画については、教育課程、探究活動、資格取得等を考慮した、個に応じた指導を展開する。 体験的な活動を、各学年と連携して実践するとともに、探究活動等との関連を明確にする。 交流活動や企業との連携を深め、体験活動をさせ、生徒の学びの深化とともに、進路に生きるキャリア教育を展開する。
	<ul style="list-style-type: none"> ホームルーム・進学ガイダンス等を通して、早い時期から生徒に目的意識を持たせ、やる気を起こさせる指導方法を追究し実践する。進路ガイダンスにおいては小論文や面接指導、進路選択に関して、講話・説明会など、外部の業者・大学を活用しながら各種資料・情報を生徒に提供し、主体的に進路選択・決定ができるよう援助する。 進学指導部と学年が連携し有機的に機能する組織と体制を確立する。ホームルームやガイダンスと関連性を持たせながら生徒との関りを強めていくように学年に働きかけていく。資料・情報を生徒、教師が共有し選択の幅を広げかつ個々の生徒に適した進路選択を実現するために早めの進路行事の展開を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年合同の講演会(夢・目標をかなえるために)をはじめ、夏季学習会、大学・専門学校を招いての進路ガイダンス、看護医療系講話、小論文・面接講座など早いところからのアプローチはできた。進学の書籍も各クラスに手厚く配分して生徒が多く情報を手にすることができるようになった。 進路行事に関しては学年独自に動いた部分もあり、進学指導部が提案し進めた部分もあった。模試に関しては実力診断テストを取り入れ、具体的な学校名や職種に対する適性を生徒・教師ともに共有できるようにした。ホームルームに関しては学年との連携が取れなかった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの行事の振り返りを整理し、学校全体として1学年から3学年までの流れをどう作っていくのかを検討する。 時間割の関係で学年との打ち合わせの時間が持てなかった。学年の動き、情報をより把握するためには必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への進路支援の在り方のシステム化。 学校と進路支援業者のやり取りをするにあたり、窓口を明確にし、そのあとどういう形で進めていくのかを考える必要がある。 各学年と定期的な意見交換会を行う。 全員が同じ時間に集まることはできなくても連絡会の時間を持つことが望ましい。あるいは放課後等の時間を利用することも考えられる。 商業科からの進路について、その特性を捉え、より有効に進路指導にいかせるよう、教員の情報共有及び研修会を実施する。
人権図書	<ul style="list-style-type: none"> LHRや人権教育講演会、人権教育職員研修会を通じて、今日的な課題の理解と解決に向け、学校全体の人権意識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「HUMAN RIGHTS」の資料を活用したLHRを実施し、公正な採用選考の実現に向けて、人権意識を高める指導を行った。 公正な採用選考の問題をもとに、男女共同参画社会の実現、ジェンダーまで関心が広がるよう努めた。 職員研修会に参加していただくことで、職員間での人権意識を深めるとともに、LHRが充実した内容になるよう努められた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全学年共通の内容を一斉に実施するLHRでは、内容の統一性はとれるが、各学年の生徒の発達段階や経験・実態等を考慮すると、一斉実施が望ましいかどうかを見極める必要がある。 知識は身につけているが、実践できるかどうか問題である。 今日的な人権課題に取り組むためには、人権図書部内でのさらなる研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進委員会を通じて、意見をうかがう機会を密にする。実施時期・内容については、一斉実施にこだわらず、各学年の状況に応じて柔軟に対応する。 人権課題の解決に向けて、具体的な実践力を養う内容の研究が必要である。 人権教育研修会等に参加し、今日的な人権の課題にも取り組めるよう努める。
	<ul style="list-style-type: none"> 図書委員が図書室に対する生徒の希望や意見を集約するなど、自発的に行動するよう指導し、生徒が積極的に図書室を活用できるように取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書当番の仕事を通じて、図書の帯出や書籍・新聞の整理に取り組むことができた。 PTAの図書購入については、各クラスの意見を集約し、公平な選定を行うことができた。 図書委員会で各自担当を決め、推薦図書を紹介した『図書便り』を発行した。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 帯出業務や新聞の整理だけではなく、図書室の利用や読書の推進に向けた積極的な姿勢が必要である。 生徒の希望がライトノベルに偏る傾向がある。 『図書便り』が本の紹介文だけで終わっていることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書委員会で学年、クラスの意見を聴く場を設ける。 広い視野で図書希望が出てくるように工夫する。 他校の資料などを参考にする。

	重点目標	成果	評価	課題	改善策等
システム管理	・校務支援システムの3学年本格的導入に当たり、日々の出欠管理を徹底し、3年生の就職・進学調査書発行業務の研修を行い、保健データとのリンクをなどスムーズな運用の確立を図る。	調査書発行業務にともなう仮評定の設定など、試行錯誤しながら運用することができた。	A	・校務支援システムを運用するにあたり、職員全体の意識の向上と研修がさらに必要である。 ・USB紛失などのリスクに対する研修も続けていく必要がある。	・情報セキュリティに対する研修を毎年設ける。校務支援システムや県のファイルサーバの使用方法など運用規定を設けるなどを実施したい。
	・ICTパソコンが16台の更新時期になるので、校務に支障がでないよう円滑に更新を行う。 IT機器を活用した授業の研究や、BYODなどの研修を行う。	いくつかの教科でタブレットと単焦点プロジェクトを用いた授業が展開できた。BYODなどの導入のための試みをすることができた。	A	・ICT機器の積極的活用が一部の職員になりがちで、活用の利便性と生徒の分かりやすさを今後も広めていきたい。	・積極的にICT機器の研修会を行う。個別指導なども行う。
商業	・専門教育の深化を図るとともにスペシャリストを育成するために、個々のニーズや時代の流れに合った商業の教育課程や指導方法を確立する。	・教育課程の見直し(選択科目の実施内容の変更) ・課題研究の実施内容・方法の変更 ・特別非常勤講師等の活用 ・受験検定の精選(1年次での日商簿記3級受験)	B	・課題研究の実施方法を変更したが、探求型の授業に対する理解度が低い。 ・1年次から日商簿記3級の受験へ変更したが、11月検定での合格率が低かった。	・1年次・2年次から探求型の授業を展開し、自分で考える力を養う必要がある。(1年 ビジネス基礎から) ・学習計画を見直し、効果的な学習の在り方を検討する必要がある。 ・高度な資格取得へのさらなる挑戦や情報活用能力の育成、実践力向上のための計画や指導方法の確立。
	・グローバル社会に生きる職業人として、国際的な視野を養うために、国際理解教育に対応した指導方法を充実させる。	・国際ビジネス交流事業の実施	A	・できるだけ多くの生徒が参加できるよう検討する必要がある。 ・参加生徒の体験発表の方法を検討し、不参加の生徒への国際理解教育を充実させる。	・実施時期の変更(7月→12月)
情報科学科	・社会に触れる機会の充実とコンピュータを活用した技術能力の向上	・情報機器を活用した興味関心を持てる座学・実習・企業見学会を実施。 ・具体的に企業見学会では、日本のコンピュータ活用技術の最先端に触れ、学びの応用であることを確認できる事業所を選択した。	B	・情報技術が企業で実践されているところを見学させることで魅力を感じさせる。	・情報機器の活用方法や授業展開を考える。
	・工業科目(情報技術)の理解と国家資格取得	・学びの理解度を計ると共に社会で必要とされる資格取得をめざす。 ・情報技術の基礎からセキュリティ技術・応用へと段階ごとに実施。	B	・情報技術の知識・スキルアップに興味関心が持てるように実習内容に工夫を凝らす。	・動機付けを丁寧に行う。
1学年	・生活習慣・学習習慣の確立と主体的な進路選択に向けての取り組み	・検定前や長期休暇中の補習を行い、学力の向上に努めた。面談やホームルーム、学年集会を通して、2年後の自分の姿をイメージさせ生活・学習目標を設定させた。遅刻指導など根気強く指導し生活習慣と自己管理意識の育成に努めた。	B	・こちらの提案に対して消極的な態度の生徒の指導方法を工夫する必要がある。	・担任だけでなく、他の教師からも個別の声掛けを行い、生徒一人一人に合った学習方法を提案する。意欲的に活動しているクラスメイトの姿を紹介し啓発する。
	・自己理解とコミュニケーションを深めるための取り組み	・生き方を考える講演会を企画し意識を高めた。 ・野外活動や1日校外研修などの班活動を行い、お互いを認め尊重する態度を養った。	B	・自尊意識の低い生徒や限られたグループの中でしか意思疎通できない生徒が多い。	・学校外の活動にも参加させ、自身の興味関心を広げ、幅広い年齢の人と触れ合うことで社会性を育む。
2学年	・進路指導の取り組み	・進路バスツアーを実施し、大学見学を中心に学部説明や食堂で昼食を取るなど、大学生が活動する様子を間近で見ることができ、進学に対する動機付けができた。また、就職希望者に対しても企業見学を実施することができた。	A	・進路バスツアーについては、特定の大学のみで見学になっているため、今後、他の進学先や学部、学科についての知識を得ること、進路先についてより具体化していく必要があると考える。	・進路ガイダンスを今年中に実施し、学部、学科についてより深く知る。また、志望理由を書くことは全生徒にとって必要となる。志望理由書を書く手立てを今年度中に講演、テキストを使って、より自分について書けるようにしていく。
	・特別に配慮が必要な生徒についての取り組み	・現在もバニック障害、アレルギーによるエピソード保持者、小児麻痺による右半身麻痺、LD・自閉症スペクトラムの生徒、てんかんの生徒、特発性側わん症の生徒など特別に配慮を必要とする生徒が多く在籍する。小児麻痺による右半身麻痺の生徒については、支援員による手当をいただいている。また、配慮が必要な生徒に対して、学校全体で周知していただくため、報告を行い、担任、保護者等の連絡を細かくおこなっている。	B	・個別計画、支援計画を計画的におこなえていないので、是正していく必要がある。	・保健部担当の先生と連携し、随時、記録を取っていく。

	重点目標	成果	評価	課題	改善策等
3 学 年	・確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教科補習も年間計画で実施しているが、特に子ども同士の協働、探求という学びを育むため夏期休業中を活用した取り組みを実施。具体に社会問題や身近なコミュニティを題材に講義・小論文の書き方・グループディスカッションとテーマごとに一連の取り組みを行った。 ・SDGs啓発のため簡単なグループ学習から始め、各自の意識へ浸透するよう達成可能な目標を考察させた。 ・継続した指導が生徒の学力向上に繋がる。 	B	・社会が課題としていることが何か、それらをどう教材に活かすか学年・進学で計画する必要がある。	・単年度の学習計画にならず、学年間を通した指導にするべきである。
	・進路指導と指導助言	<ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるごとに進路のガイダンス内容も具体化して行い、進路先によっては4者面談の体制をとり指導に充てた。 	B	・少数ではあるが、子供の意思ではなく保護者の思いが強く、理解に時間がかかる。	・子どもの希望、学力、適性に応じた丁寧な懇談を継続して実施する。

令和元年度 学校評価 生徒アンケート集計結果 (生徒696名)

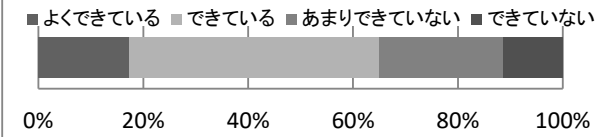
1. 教育活動全体を通して、生活綱領(※)や生命を尊重する心、他者を思いやる心、感謝の心を備えた生徒を育成できていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	174	405	98	19
平均値		3.1		
				
2. 学校生活に必要な情報を学年通信やホームページ等を通して発信していると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	133	348	166	45
平均値		2.8		
				
3. 学校行事の精選や内容の充実を図っていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	92	339	197	68
平均値		2.7		
				
4. 授業は分かりやすいと思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	86	418	153	37
平均値		2.8		
				
5. 普通教室での大型表示装置の活用など、ICTを活用した授業が行われていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	125	331	189	49
平均値		2.8		
				
6. 考える力(課題解決力・自分で答えを導き出す力)の育成ができていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	101	396	170	28
平均値		2.8		
				
7. 宿題や課題の内容・分量は適切であると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	102	279	194	121
平均値		2.5		
				
8. 商品開発、販売実習や海外ビジネス交流は、本校の特徴的な取り組みについての一つになっていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	252	312	105	26
平均値		3.1		
				
9. 情報を活用する能力を育成していると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	132	364	174	24
平均値		2.9		
				

10. 資格取得のためのサポートが充実していると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	294	318	72	11
平均値		3.3		
				
11. 生徒のコミュニケーション力の育成ができていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	109	360	202	25
平均値		2.8		
				
12. 生徒の学力を伸ばし、希望進路(生徒や保護者のニーズに応じた)を実現できていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	127	405	141	22
平均値		2.9		
				
13. 生徒や保護者に適切な進路(進学・就職)に関する情報が提供できていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	171	369	135	20
平均値		3.0		
				
14. 勉学と資格取得と部活動について、バランスよく取り組んでいると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	108	337	180	69
平均値		2.7		
				
15. 部活動は、安全に配慮して過度な疲労を残さないなど、適切な運用を行っていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	111	321	190	69
平均値		2.7		
				
16. ノー部活動デーは実施されていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	100	178	162	249
平均値		2.2		
				
17. 生徒は交通ルールやマナーをよく守っていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	71	257	283	85
平均値		2.5		
				
18. スマートフォン等利用方法・利用時間等について、家庭や自己でルールをつくり、守れていますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	139	276	164	113
平均値		2.6		
				

平均値は「よくできている」を4点、「できている」を3点、「あまりできていない」を2点、「できていない」を1点とした平均の値となっています。
 ※生活綱領「自分で考え自分で行う人となろう」「創意工夫に生きる人となろう」「共に喜び生きる人となろう」

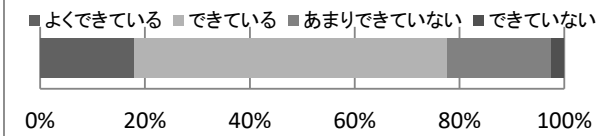
19. 時代の流れに応じて、校則等を見直し、生徒・保護者へ適切に対応できていると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	120	333	164	79
平均値 2.7				



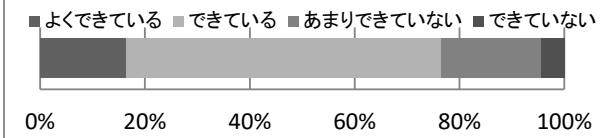
20. 交通ルールやマナーを守るなど、安全な学校づくりを推進していると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	125	413	138	17
平均値 2.9				



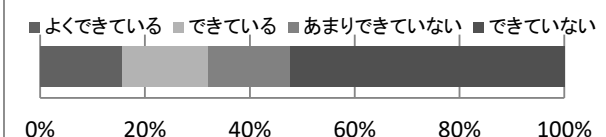
21. 人権について考え、人権意識を高めることができたと思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	114	417	132	31
平均値 2.9				



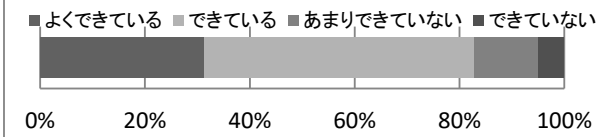
22. 図書室を利用したことがありますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	109	113	108	363
平均値 2.0				



23. 生徒は、明るく充実した学校生活を送っていると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	217	357	85	34
平均値 3.1				



※平均値は「よくできている」を4点、「できている」を3点、「あまりできていない」を2点、「できていない」を1点とした平均の値となっています。

令和元年度 学校評価 保護者アンケート集計結果（保護者678名）

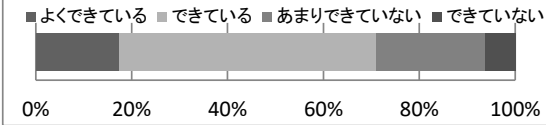
1. 教育活動全体を通して、生活綱領(※)や生命を尊重する心、他者を思いやる心、感謝の心を備えた生徒を育成できていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	127	458	80	9
平均値		3.0		
2. 学校生活に必要な情報を学年通信やホームページ等を通して発信していると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	102	418	138	18
平均値		2.9		
3. 学校行事の精選や内容の充実を図っていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	97	436	128	17
平均値		2.9		
4. 授業はわかりやすいと思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	73	439	143	13
平均値		2.9		
5. 普通教室での大型表示装置の活用など、ICTを活用した授業が行われていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	82	387	170	14
平均値		2.8		
6. 考える力(課題解決力・自分で答えを導き出す力)の育成ができていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	99	395	168	13
平均値		2.9		
7. 宿題や課題の内容・分量は適切であると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	98	414	141	23
平均値		2.9		
8. 商品開発、販売実習や海外ビジネス交流は、本校の特徴的な取り組みの一つになっていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	181	375	106	12
平均値		3.1		
9. 情報を活用する能力を育成していると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	95	421	148	12
平均値		2.9		

10. 資格取得のためのサポートが充実していると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	220	345	99	12
平均値		3.1		
11. 生徒のコミュニケーション力の育成ができていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	98	415	147	13
平均値		2.9		
12. 生徒の学力を伸ばし、希望進路(生徒や保護者のニーズに応じた)を実現できていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	114	411	136	13
平均値		2.9		
13. 生徒や保護者に適切な進路(進学・就職)に関する情報が提供できていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	125	387	142	22
平均値		2.9		
14. 勉学と資格取得と部活動について、バランスよく取り組んでいると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	114	365	154	43
平均値		2.8		
15. 部活動は、安全に配慮し過度な疲労を残さないなど、適切な運用を行っていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	123	377	128	41
平均値		2.9		
16. ノー部活動デーは実施されていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	131	312	125	97
平均値		2.7		
17. 生徒は交通ルールやマナーをよく守っていると思いますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	126	409	133	10
平均値		3.0		
18. スマートフォン等利用方法・利用時間について、家庭や自己でルールをつくり、守れていますか。				
評価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
R1年度	110	253	218	94
平均値		2.6		

平均値は「よくできている」を4点、「できている」を3点、「あまりできていない」を2点、「できていない」を1点とした平均の値となっています。
 ※生活綱領「自分で考え自分で行う人となろう」「創意工夫に生きる人となろう」「共に喜び生きる人となろう」

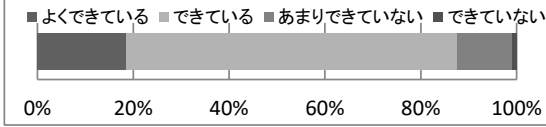
19.時代の流れに応じて、校則などを見直し、生徒・保護者へ適切に対応できていると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
RI年度	117	359	152	42
平均値				2.8



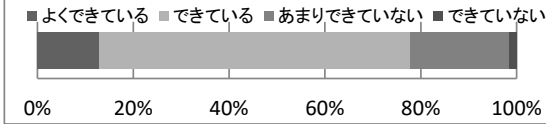
20.交通ルールやマナーを守るなど、安全な学校づくりを推進していると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
RI年度	125	467	76	7
平均値				3.1



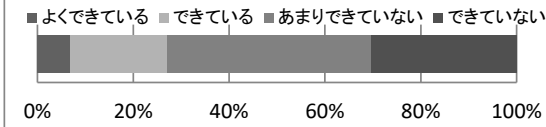
21.人権について考え、人権意識を高めることができたと思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
RI年度	86	437	139	10
平均値				2.9



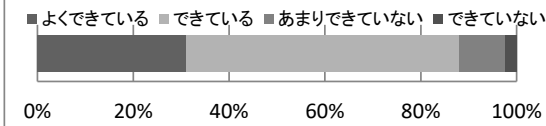
22.生徒は図書室を利用していると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
RI年度	46	137	286	204
平均値				2.0



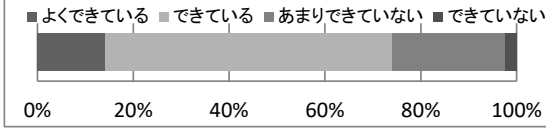
23.生徒は、明るく充実した学校生活を送っていると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
RI年度	211	385	65	16
平均値				3.2



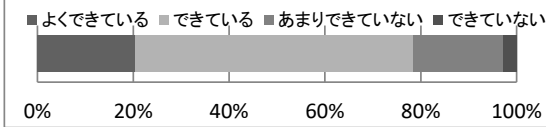
24.保護者は卒業生、地域、地元企業等と連携を図りながら、生徒が社会を感じることができる機会が十分設定されていると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
RI年度	93	394	154	16
平均値				2.9



25.保護者との緊急連絡体制が確立されていると思いますか。

評 価				
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
RI年度	134	381	123	19
平均値				3.0



平均値は「よくできている」を4点、「できている」を3点、「あまりできていない」を2点、「できていない」を1点とした平均の値となっています。